

エンタメ作家としてデビューし、かつ、生き残るために 2021
～『空貝』『立花三将伝』を題材に～

2021. 3. 26 赤神 諒

一、自己紹介：受賞・デビューまでの苦難の7年半～自称「ブレイク寸前作家」→悲劇作家

- ・ 1勝、数十敗（長編17作品、短編数本）
- ・ 歴史もの&現代もの（ファンタジー）
- ・ 最終候補3度、1次落選20回くらい ～へこたれない方法
- ・ 受賞&生き残りには、実力+運が必要（作品を取り上げられるわけではない）
- ・ 自分の武器は何か：泣ける小説
- ・ 現在13社からご依頼殺到中、連載3本、連載予定2本、賞狙い

二、小説の書き方

1. ジャンル

- ①自分が「書きたくて仕方がないこと」を書く（長編執筆は1万個の壁を破る作業）
- ②売れるジャンル（デビュー作品が当面の作家人生を規定する）

2. 構成

(1) モチーフ（題材）・エピソード

- ・ 常にストックを（玉石混交）
- ・ 時間のあるとき or 行き詰ったら見直す

(2) テーマ（メッセージ性・考えさせる悩み・問題提起） ～純文学

- ・ ひと言で言うと、どんな小説なのか、帯に何と書くのか
- ・ 小説の背骨、書いているうちに見える場合もある

例) 仇討ちは是か、愛とは赦しか

例) 敗者の忘却の歴史：実は名もなき偉大な将たちが歴史を作っている

- ・ できれば先に決める

(3) 登場人物

- ・ 少ないほどいい（心情や人間関係を濃密に書ける、わかりやすい）
- ・ 魅力的なキャラ設定（極端なほど、~~ありがち~~＝平凡でない、イメージしやすい）

例) 強い巫女武将、強すぎる鬼鯨、ちゃらんぽらんな武芸者&斜に構える知恵者

(4) プロット（おおよその青写真・骨格）

- ・ やり方は千差万別：完全なものは作らない
- ・ 謎の設定と伏線の配置（書きながら設計+修正）
- ・ シーン設定、視点、登場人物、場所、流れ、セリフ
- ・ どんでん返し（驚き）とカタルシス（読後感）
- ・ 冒頭とラストの練り込み（理想＝ジェットコースターの展開）

3. 執筆方法

(1) 基本（執筆＝面倒くさい作業）

- ・ ①設定メモ+②本文（+③資料編）

- 41 ・基本は前から：書ける部分、書きたい部分・セリフ・説明から書く ～文豪タイプ
- 42 ・説明は小出しに＋セリフも活用、しかし状況が自然にわかるように
- 43 ・小見出しにエピソード名・視点・場所などを書き、入れ替えも
- 44 ・章タイトルをつけながら、エピソードの入れ替え・追加・削除
- 45 ・「どうすればより面白くなるか」をひたすら考え続ける
- 46 ・登場人物の行動・感情の合理性確保＋作者都合の排除

47 (2) ちょっとしたコツ

- 48 ・脚注：キャラの特徴、発言意図など、自分向けの備忘
- 49 ・各種記号（横書きを前提）
 - 50 ●（保留）、▲／▼（上／下に挿入・伏線）、★（エピソード挿入）
- 51 ・ここぞ！にカンナ掛け：トッピング表現の練り込み（書き出し、情景描写、セリフなど）
- 52 ・最終段階では数百の記号を処理してゆく（草稿）
- 53 ・縦書きにして推敲を重ねる（わかりやすく、重複削除、矛盾の修正、誤字脱字追放）
- 54 ＝基本的に削っていく作業（仕上げ、劇的に、感動的に）
- 55 ・自分も納得できる「名作」を

56 4. 執筆環境の調整

- 57 ・ソフト：（仕方なく）word
- 58 ・メモ ～スマホ
- 59 ・テーマ曲（組曲）の設定：集中力アップ
- 60 ・忘れるための「寝かせ期間」の設定（スケジュール管理を）
- 61 ・まとまった時間と細切れ時間、寝る前、移動中

62 三、構想・発想のヒント ～「空貝」&「立花三将伝」を素材として

63 1. ちょっとしたコツ

- 64 ①ベース（骨格）としての**伝承**→をひねる（劇的に）
 - 65 例）鶴姫伝説：単純な悲恋物語。男が先に戦死～いかに死なせるか（自己犠牲）
 - 66 例）立花鑑載の乱：道雪の負傷・危機、裏切りによる落城（なぜ裏切ったのか）
- 67 ②**本歌取り** 例）ロミジュリをさらに極端設定
- 68 ③**冒頭の衝撃&名作の応用** 例）裏切り、ガンダムのシャア
- 69 ④**極端なキャラ設定** 例）強さの表現 鬼鯨：強い師・鮫之助の胸に傷＋セリフで
- 70 ⑤**現代の視点** 例）もし戦国でなく現代を生きていたら……、遠距離通信
- 71 ⑥**人間を描く** 例）葛藤 最愛の恋人との対決、親友との対決
- 72 ⑦**山あり谷あり（二転三転＋）** 例）いつもピンチ（敵が多い）を。最後は最大のピンチ。
- 73 ⑧**転校生視点**（状況・人間関係の説明＋変化）
- 74 ⑨**簡単な謎の設定方法**（意味深な現在→回想）
- 75 ⑩**積み木崩し**の快感 例）築き上げた絆（第1部）と対決（第2部）

76 2. 発想力の基盤整備

77 ～「わがままでナイーブな王女様」との付き合い方

- 78 ①資料を調べながら書く：図書館・ネットの活用・ご縁（完璧を求めない）

81 ②現地：舞台のイメージ、高低差、見え方など

82 ③120%健康法

83 ④環境の調整と変化

84 ⑤音楽の活用

85 3. 基本スタンス

86 ①あっさりとした、したたかなストーリー（24H発想）

87 ②原石収集；ひたすらメモ、寝床にメモとライト

88 ③セレンディップ方式：すべてはご縁

89

90 四、実力の上げ方

91 ・量は質を凌駕する：必ず毎日ノルマを決めて書く（例）2→4000字／日

92 ・1万時間の法則→4万時間の法則：いかに早く投入できるか

93 ・読書、映画鑑賞、漫画、テレビ……

94

95 五、応募方針

96 ・取った後のことも考えておく（ジャンル、出版社）

97 ・一発勝負よりも、挑戦の継続を

98

99 六、デビュー後の心得

100 ・執筆の継続：◎

101 ・作家との交流：△

102 ・出版社の開拓：○

103 ・読者の獲得：△

104

105 *****

106 【Q&A】

107 1. Kさん(60代男性)

108 ④歴史小説の主人公を選ぶ時「この人のことを書こう」と思うのは何がきっかけ・理由
109 になりますか？また、赤神先生が⑤大友氏周辺または九州の武将たちを書こうと決めた
110 きっかけを教えてください。

111 2. Yさん(50代男性)

112 ④主人公や題材とする歴史上の人物の選び方や基準を教えてください。

113 →④：①面白そう(劇的)、②好き、③あまり書かれていない(信長、家康)、④有名どこ
114 ろと絡んでいる

115

116 3. Eさん(20代女性)

117 編集者から真っ赤に手を入れられた原稿が返される、という話がありますが、どのくら
118 い赤くなる(修正を求められる)のですか？どんな直しを求められますか？(できればデビ
119 ュー作の「大友二階崩れ」を例に教えてください)

120

- 121 4. Hさん(50代男性)
122 デビュー作を構想してから書き上げるまでどのくらい時間がかかりましたか?
123
- 124 5. Tさん(30代男性)
125 弁護士・大学教授・作家…複数のわらじを履きながら作家業に取り組める秘訣、楽し
126 さ、辛さを教えて下さい。
127
- 128 6. Aさん(60代女性)
129 決闘シーンや武家の所作などを描写する際に気をつけていることを教えて下さい。
130 →①短く・テンポよく、②わかりやすさ(誰のセリフ・行動か)、③重複なし
131
- 132 7. Kさん(50代女性)
133 なぜ小説家になろうと思ったのですか?
134
- 135 8. Mさん(50代女性)
136 ある人物や事件を題材に書こうと決めた時、その時代の言葉や風習、小物、着物な
137 ど細々したところはどのように調べているのですか? 秘訣があれば教えて下さい。
138 →日本服飾史など事典、物知り事典の類、小説、大河ドラマなど+校閲
139
- 140 9. Eさん(50代女性)
141 史実と架空の設定の塩梅(オリジナルの設定をどこまで取り入れるか)を教えて下さ
142 い。
143
- 144 10. Tさん(30代男性)
145 取材はどのようにされますか? 方法や時間、またどこまで調べるか(どこまで取材
146 をやめるか)を教えて下さい。
147
148